



RI DISTRICT 2500 THE ROTARY CLUB OF KITAMI EAST

北見東ロータリークラブ

2026-27年度
RI会長
メッセージ

「CREATE LASTING IMPACT」

2026-27年度 国際ロータリー会長 オンラインカ・ハキーム・パバロラ氏

2026-27年度
RI第2500地区
スローガン

「親睦から始まる持続可能な奉仕！」

～原点復帰・ロータリーを楽しんでいますか？～

2026-27年度 国際ロータリー第2500地区ガバナー 山本 倫生

2026-27年度
北見東ロータリークラブ
活動方針

「願いをカタチに、奉仕を未来へ」

2026-27年度 北見東ロータリークラブ会長 堀江 篤

持続可能な
インパクトを
生み出そう



<<< 本日の例会 第3055回 >>>

2026年8月28日(金) ホテル黒部 12:30～

- ◇点鐘(開会)
- ◇ロータリーソング:第4週 それでこそロータリー
- ◇会長挨拶:堀江会長
- ◇その他:
- ◇会長報告:堀江会長
- ◇幹事報告:松下副幹事
- ◇委員会報告:各委員会より
- ◇ニコニコBOX:親睦活動委員会
 - ◇祝誕生日(8/28～9/24)
 - 近藤会員・谷会員・井上会員
 - 渡部会員夫人・小池会員夫人
 - ◇祝結婚記念日(8/28～9/24)
 - 井上会員・遠藤会員・富永会員
- ◇本日のニコニコ
- ◇本日のプログラム
 - CL・会員増強委員会担当例会 上期情報集会報告
- ◇点鐘(閉会)

<< 今後の例会予定 >>

<< 9月例会等予定 >>

- 9月 4日(金) 社会・職業奉仕委員会担当例会 北見神社清掃
- 9月11日(金) 特別休会
- 9月16日(水) 4RC合同ガバナー公式訪問夜間例会(18時～ホテル黒部)
- 9月17日(木)～19日(土) 社会・職業奉仕委員会担当例会 北見神社秋季例大祭出店
- 9月25日(金) 新入会員卓話 佐々木 雄哉会員

<< 10月例会等予定 >>

- 10月 2日(金) 米山記念奨学会委員会担当例会
- 10月 9日(金) 特別休会
- 10月16日(金) 特別休会
- 10月17日(土) 創立65周年記念式典・祝賀会
- 10月23日(金) 新入会員卓話 日南 謙一会員
- 10月30日(金) 遅ればせながら新入会員卓話 小西永剛会員

<< 他RC例会等の予定 >>

- 9月 9日(水) 北見RC :創立記念夜間例会(18時半～ホテルベルクラシック)
- 9月23日(水) 北見RC :法定休会
- 9月24日(木) 北見西RC:特別休会

<北見東RC情報>

ホームページにて
＼ 公開中 ／



<週報一覧>



過去の週報はこちらから
ご覧いただけます。

会員としての
誇りを胸に



rotary.org

■会長挨拶：堀江 篤 会長 ****



皆さまこんにちは。少し暑さも和らぎ過ごしやすい日々が続くようになりましたが、本州では地震、猛暑、台風、豪雨、洪水、干ばつにみまわれるなど、多大な被害となっております。千葉県をはじめ、石川県・富山県でも記録的な大雨が続いています。線状降水帯が発生し、今月の千葉豪雨に続いて、また極端な大雨のニュースです。こうした極端な大雨が続く背景に地球温暖化の影響があると指摘されています。海水温の上昇により大気中の水蒸気が増え、一度降り出すと記録的な雨量になりやすくなっているということです。「観測史上最大」「記録的」という言葉を、今年だけで何度聞いたでしょうか。異常気象がもはや異常ではなくなりつつある、そんな時代になってきました。温暖化の話になると「自分一人が何をしても変わらない」と感じてしまいがちです。でも逆にいえば、一人ひとりの積み重ねが現在の状況を作ってきたともいえます。冷房の設定温度を一度上げる、不要な電気を消す、マイボトルを持ち歩く。できることは小さくても、意識を持って続けることに意味があります。被災された皆さまの安全を願っております。

話は変わりますが先週の創立記念夜間例会、菊池親睦委員長を初め委員会の皆様、大変、楽しい例会をしつらえて頂きましてありがとうございました。ジンジイさんと藤田さんの浴衣姿が大変素敵であったことが印象に残っております。さて、8月の月間テーマは会員増強月間ですが今月も残すところ数日しかありません。会員増強は年間を通じて行われており、終わりがありませんが、会員勧誘行動を積極的にお願いいたします。

本日は会員増強情報集会報告もあり楽しみにしておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

■幹事報告：松下 満 副幹事 ****

- ・9月例会の出欠を8月31日(月)までにご返答をお願いいたします。
- ・9月16日(水)「4ロータリー合同ガバナー公式訪問」の出欠を、9月4日(金)までにご返答をお願いいたします。



・9月理事会の議事録のご確認をお願いいたします。

・9月17日（木）～19日（土）「秋の例大祭」で着るTシャツを新人の方は是非購入していただきたいと思っております。9月4日（金）までにご返答をお願いいたします。

■委員会報告 *****

◇社会・職業奉仕委員会：谷 和範 委員長

9月4日（金）移動例会として、北見神社の清掃を本年度も行わせていただきます。皆さん是非ご参加の方よろしくをお願いします。もし、芝刈り機をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひその時に持ってきてください。

<スケジュール>

11時30分～12時30分 昼食（2階）

12時30分～13時30分 神社清掃



9月第3週例会、北見神社のお祭りの出欠アンケートをまだ出されていない方は、できるだけ早めに事務局の方にご提出の方よろしくお願いいたします。

◇65周年記念事業委員会：村井 一介 委員長

いよいよ本格的に活動を開始する時期となり、9月に入ってから順次取り組みを進め、9月後半に向けて実施していく予定です。本日の例会終了後、委員会メンバーで最終確認と諸々の調整を行い、正式にスタートする予定です。例会終了後は、委員の皆様に対し時間をいただき、レストランにて最終確認の委員会を開催します。



■親睦活動委員会 *****

◆祝誕生日（8/28～9/24）

近藤会員・谷会員・井上会員



渡部会員夫人・小池会員夫人

◆祝結婚祝（8/28～9/24）

井上会員・遠藤会員・富永会員



*****＜ニコニコBOX（例会8/28）＞*****

本日もたくさんのニコニコありがとうございました。

ニコニコ担当：大谷 昌人

- 腰原 久郎会員・・結婚記念祝、ありがとうございました。
- 富永 省三会員・・結婚記念ありがとうございました。
- 橋本 環会員・・誕生日祝いありがとうございます!!
8/26に初孫ができおじいちゃんになりました!!
- 村井 一介会員・・神社清掃奉仕お世話になります。秋まつり前に
きれいにしていただき大変感謝しています。
よろしくお願いいたします。
- 小池 正人会員・・嫁の誕生日お祝いいいただきありがとうございます。

本日ニコニコ金額	5件	13,000円
ニコニコ累計金額合計	26件	93,000円

◇CL・会員増強委員会：佐藤 大一 委員長

上期の情報集会について、各班でまとめた内容を発表していただきます。また、会員増強月間ということで、会員増強に向けた取り組みも進めています皆さんから「ぜひ勧誘したい」という方や、「入会の可能性がありそう」という方について、噂レベルの情報でも構いませんので、委員会メンバーまでお知らせください。現在、候補者リストを作成しており、完成後はメンバーの皆さんにも共有する予定です。



皆さんで協力しながら、少しでも会員を増やしていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、1班から順次発表していただき、時間がありましたら最後に会長から一言いただきたいと思います。

第一班：高橋 一徳 会員



身近な奉仕について、「家庭・職場・地域」の3つの場面で意見を出し合いました。

・家庭

家庭では、節電・節水を心がけるほか、家族の送り迎えや家事、草刈り、両親との外出や旅行など、身近な人への支援が挙げられました。

・職場

職場では、笑顔での挨拶や周囲の体調・メンタルへの気配り、職場や近所の清掃など、日常の中でできる奉仕について意見が出ました。

・地域

地域では、高齢者への声かけ、子ども会への参加、通学路の除雪、学校の草刈りやグラウンド整備など、地域に貢献する活動が挙げられました。

また、個人では時間を確保しにくい場合でも、ロータリー活動を通じて神社清掃などの奉仕活動に参加でき、さまざまな奉仕の機会が得られるという意見もありました。

第二班：千葉 淳一 会員



第2班は、8月22日に北見神社で焼肉を囲みながら情報集会を開催し、8名が参加しました。討議では、身近な奉仕活動やロータリーにおける奉仕のあり方について意見交換を行いました。

・身近な奉仕活動

地域文化の発信やカーリングの普及、神社清掃、ライトアップ設営、ゴミ拾い、障害者施設でのボランティア、雇用を通じた生活困窮者への支援など、さまざまな活動が挙げられました。また、人と人をつなぐネットワークづくりも奉仕の一つとして意見が出ました。

・ロータリーにおける奉仕活動

例会への出席や会員同士の親睦・自己研鑽も社会の安定につながるという意見や、ロータリーの人脈を活用して地域や経済活動を支援することの重要性が確認されました。

奉仕には、日常の小さな活動から、雇用・資金支援、人脈を活用した支援まで幅広い形があり、ロータリーのネットワークを活かしながら継続していくことが重要とのまとめとなりました。

第三班：小林 忍 会員



今回の討議では、「奉仕とは何か」について4つの視点から意見交換を行いました。

1. 日常の小さな行動も奉仕

挨拶やゴミ拾い、困っている人への声かけ、周囲への気遣いなど、特別なことではなく、今すぐ自分にできる行動も奉仕であると確認しました。

2. 仕事の経験や能力を地域に生かす

本来の仕事以外でも困りごとの修繕や相談に対応する。不動産の活用について収益にならない相談にも応じる。地域に必要な役職やボランティアを責任を持って引き受ける。など自分の経験や専門性を地域のために役立てることが職業奉仕につながるとの意見が出ました。

3. 相手の喜びや改善につながるものが奉仕

見返りを求めず、相手が喜ぶことや、相手の状況が少しでも良くなることを率先して行うことが奉仕であると考えました。

4. 継続することが重要

一時的な活動ではなく、多くの会員が参加し長く継続できる奉仕活動を行うことが、地域からのロータリーへの認知や共感につながるとの意見がありました。

最後に、奉仕を「自分が行うもの」と考えるだけでなく、困っている人や地域の状況を見たときに、自然と「何かしてあげたい」という気持ちに突き動かされて行動することも奉仕ではないかという感想が述べられました。

「特別なことではなく、身近にできることを自然に、そして継続して行う」ことが奉仕の本質であるという内容でした。

第四班：大村 美環子 会員



8月10日に花鳥風月にて、7名で第4班の情報集会を開催しました。「今日からできる身近な奉仕」をテーマに、各自が普段行っている奉仕活動について意見交換を行いました。

地域清掃や高齢者・子どもの見守り、イベントの手伝い、笑顔での挨拶など、日常の行動の多くが奉仕につながるとの意見が出ました。

特に、近所付き合いが希薄になっている中で、町内会などを通じて、年齢に応じてできることを助け合い、日頃から挨拶やコミュニケーションを取ることが、身近な奉仕につながるとの意見がありました。実際に、困っている子どもを近所の方と協力して助けたことをきっかけに、日常的な交流や助け合いにつながった事例も紹介されました。

献血やフードバンクへの協力、ペットボトルキャップの回収なども、身近にできる奉仕活動として紹介されました。

特にペットボトルキャップの回収は、リサイクルによる環境保全だけでなく、ポリオワクチン支援につながる活動であり、ロータリーが長年取り組んでいるポリオ根絶への小さな一歩として、今日からできる奉仕ではないかとの意見でまとめられました。

身近な人とのつながりを大切にし、日常の小さな行動から地域や社会に貢献することが奉仕につながるという内容でした。

第五班：菊池 寿師 会員



今回の情報集会では、メンバーが日頃行っている身近な奉仕活動を共有し、明日から自分でもできる奉仕の参考にすることを目的に意見交換を行いました。

主な活動として、自治体や行政機関などの要職を務めながら社会貢献活動を行っている会員や、日本赤十字、障害者・DV被害者支援団体などへの寄付、冬場の消火栓・看板周辺の除雪活動などが紹介されました。

新聞配達を通じた地域の防犯や高齢者の安否確認、長年にわたる町内会活動、子ども食堂への寄付、クリック募金、海外の子どもたちへの継続的な寄付や物品支援など、仕事や日常生活の中でできるさまざまな奉仕活動が共有されました。

今回の情報集会を通じて、ロータリーの会員は日頃からそれぞれの立場や仕事を活かし、さまざまな形で奉仕活動を実践していることを改めて知る機会となり、非常に参考になったとの感想がありました。

第六班：大谷 昌人 会員



7名の会員で「今日からできる身近な奉仕」をテーマに活発な意見交換を行いました。

奉仕は大きな事業だけではなく、自分や家族、会社、仲間が健全であることを土台に、誠実に仕事をする、クラブへの参加、声かけ、地域の課題に気づき行動することから始まるという結論になりました。

主なポイントは以下の5つです。

1. 奉仕の入り口は身近なところにある
2. 仕事を通じた地域貢献も立派な奉仕
3. 奉仕を続けるためには健康と心の余裕が必要
4. 参加・声かけ・気づきなど、今日からできる行動が奉仕につながる
5. ロータリーの強みである「人と人をつなぐ力」を活かす

具体的な活動として、例会への参加、献血、継続的な寄付、子どもの職業体験、募金、人材派遣、職業を通じた地域の安心・安全への取り組み、町内会活動など、さまざまな事例が紹介されました。

特別なことだけが奉仕ではなく、それぞれの立場で身近にできることを見つけ、継続して行動していくことが大切という内容でまとめられました。

総括：堀江 篤 会長



やはり奉仕というのは、何か特別なことをするというよりも、自然体で行動することが大事なんだと思います。特に、笑顔で「ありがとう」と伝えることや、困っている人に声をかけることは、誰でも今日からできる身近な奉仕だと思います。

今回の報告の中でも、実際に「声をかける」という活動が行われているという話がありました。こうした日常の小さな行動を大切にして、自然な形で奉仕につなげていくことが大切だと思います。